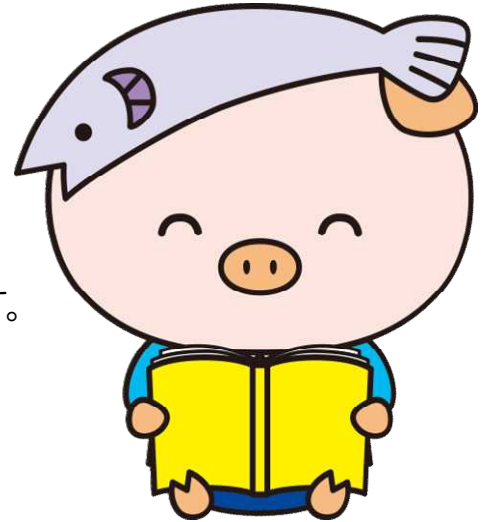


# このほんしってる？

1・2年生

ここに、しょうかいした<sup>ほん</sup>本は、としょかんにあります。  
 よみたい本がみつかったら、<sup>ほん</sup>厚木シティプラザ3かい  
 こどもの本のフロアや、えちきた・むつあいきた・こあゆ・  
 おぎの・もりのさと・たまがわ・あいかわ・むつあいにし・  
 なんもうりの こうみんかんに きてください。  
 いどうとしょかん「わかあゆ<sup>ごう</sup>号」でも、かりられます。  
<sup>ほん</sup>本は、ひとり10さつ、2しゅうかんまで かりられます。  
<sup>ほん</sup>よみたい本が かしだしちゅうのときは、よやくをして  
 ください。



原本市マスコットキャラクター

あゆ<sup>ご</sup>回<sup>らん</sup>

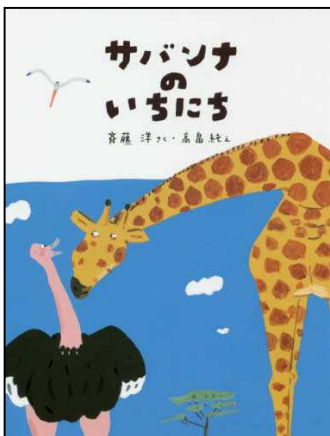
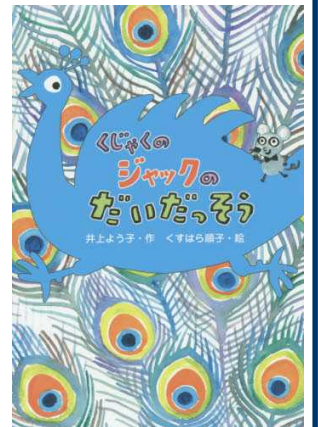
2018年

## 1・2年生 よみもの

### 『くじゃくのジャックのだいたっそう』

井上 よう子/作 くすはら 順子/絵 文研出版

みえっぱりのくじゃくの ジャックは、うつくしいのが じまん。  
 さるに わるくちを いわれて、カッとなったジャックは、かっこよく  
 とんでみせてやろうと とびたつた。すると ちょうど つよいかぜが  
 ぶいてきて、どうぶつえんの フェンスを とびこえて しまった。  
 じつは、とぶことが にかてな ジャック。いったい どうする？



### 『サバンナのいちにち』

齊藤 洋/さく 高畠 純/え 講談社

サバンナの いちにちは、お日さまが <sup>ひ</sup>顔をだす <sup>かお</sup>夜明けから、<sup>よあ</sup>ど  
 うぶつたちの おしゃべりではじまります。ワシとアフリカワシミ  
 ミズク、サイとカバ、シマウマとオカピ、ゾウのかぞく、シママン  
 グースとニシキヘビ、チーターのこどもと おじいさんライオン。  
 きっと、おもしろい おしゃべりを きくことが できますよ。

## 『じてんしゃのほねやすみ』

村上 しいこ/さく 長谷川 義史/え PHP研究所

けんいちのじてんしゃが、「わっしょい、わっしょい」とにわをぐるぐるまわってる。けんいちのおみこしのれんしゅうをみているうちに、やりたくなってしまったんだって。ほねばかりのじてんしゃに<sup>ちから</sup>力をつけようとかぞくはきょうりよく。いっしょに走ったり、うですもうをしたり。さあ、うまくいくだろうか。



## 『だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ』

安房 直子/作 ひがし ちから/絵 偕成社

ひとりぼっちの「だんまりうさぎ」は、おともだちがほしくてたまりません。「おいしいサラダや やきいもをいっしょにたべる おともだちがほしいな」とおもいました。けれどだれもきてくれません。あるひのあさのことです。とおくからくちぶえのおとがきこえてきたのです。

だれかがあそびにきたのでしょうか？



## 『天女銭湯』

ペク ヒナ/作 長谷川 義史/訳 ブロンズ新社

「銭湯」は、お金をはらって入るおふろやさんのこと。

ドッチが銭湯であったばあちゃんは、なんと「天女」。はじめはこわかったけど、みずぶろであそんで、すっかりなかよしになった。ドッチがヤクルトをプレゼントすると、はじめてのむばあちゃんはうれしそう。また、ばあちゃんにあえるかな。



## 『ヒルダさんと3びきのこざる』

クエンティン・ブレイク/文 エマ・チチェスター・クラーク/  
絵 むらおか みえ/訳 徳間書店

ヒルダさんは、3びきのこざるをかっています。ヒルダさんがでかけるたびに、こざるたちはいえじゅうをちらかしてしまいます。とうとうヒルダさんは「こんなにくたらしいこざるなんて、もういらぬわ!」とさげびました。こざるたちはどうなるのでしょうか。

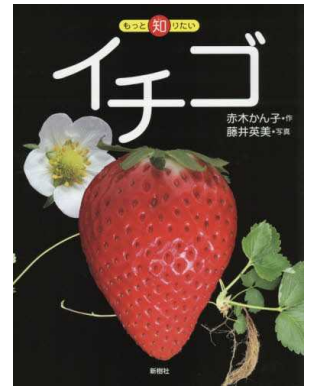


# 1・2年生 しらべる・あそぶ

## 『イチゴ (もっと知りたい)』

赤木 かん子/作 藤井 英美/写真 新樹社

赤くておいしいイチゴ。イチゴは どうやって 大きくなるんだろう。イチゴの つぶつぶって 種じゃないのかな？芽がでて のびていくようすや、つぼみのなかで イチゴのもとが どうなっているかが、大きな写真で よくわかるよ。



## 『オオカミから犬へ！ 人と犬がなかよしなわけ』

ハドソン・タルボット/作・絵 真木 文絵/訳 岩崎書店

犬のそせんは、オオカミでした。オオカミは、どうして 犬になったのか。それは、おおむかしに にんげんと オオカミがであったから。そして、にんげんと いっしょに くらしていくことを えらんだオオカミが、やがて 犬になりました。

犬は、にんげんの くらしにあわせて かわっていき、もっとも みぢかな パートナーになったのです。

## 『カマキリの生きかた さすらいのハンター』

筒井 学/写真と文 小学館

カマキリは、ひとつのかたまりから、200ぴきも生まれます。けれども、すぐに 兄弟たちとはなれて、1ぴきだけで 生活します。ハンターとして、じぶんのカマで 虫をとらえ、食べるのです。そして、カマキリも 鳥などのほかの生き物に 食べられます。生き残れるのはほんのわずか。食べた 命を 次の卵へ つないでいくのです。



## 『海のふかふか ただよう海の生きもの』

高久 至/写真 寒竹 孝子/文 アリス館

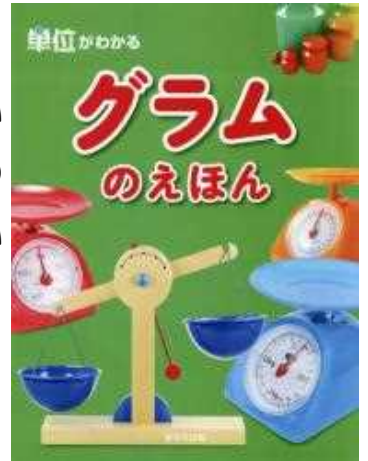
ひろーい海のなかには、くらげのように、ゆらゆらふわふわ、ういたり ながされたりしながら、くらしている生きものがあります。

また、タコやイカ、エビやカニなど、およぎがへたな ことものときだけ、ふかふか ただよっている 生きものもいます。

いろんな ふかふか、どんな生きものがあるか、見てみましょう。

『<sup>たんい</sup>単位がわかる <sup>グラム</sup>グラムのえほん』 <sup>ほるぷ</sup>出版

1 <sup>グラム</sup>g って <sup>おも</sup>どのくらいの <sup>グラム</sup>重さ? 1 <sup>グラム</sup>g と 1 <sup>キログラム</sup>k g は <sup>おも</sup>どのくらい <sup>まえ</sup>ちがうの? このほんは、ページを <sup>めく</sup>ると、<sup>まえ</sup>前の <sup>ページ</sup>ページの <sup>ばい</sup>10倍の <sup>おも</sup>重さのものが <sup>で</sup>出てきます。コウモリは <sup>えんだま</sup>1円玉 <sup>10</sup>まい <sup>ぶん</sup>分で <sup>グラム</sup>10 g、キュウリは <sup>ぶん</sup>コウモリ <sup>10</sup>びき <sup>ぶん</sup>分で <sup>グラム</sup>100 g、<sup>ほんぶん</sup>トランペットは <sup>キログラム</sup>キュウリ <sup>10</sup>本 <sup>ぶん</sup>分で <sup>キログラム</sup>1 k g! <sup>おも</sup>どんどん <sup>おも</sup>重いものが <sup>で</sup>出てきて、<sup>ちきゅう</sup>さいごは <sup>おも</sup>なんと、<sup>ちきゅう</sup>地球の <sup>おも</sup>重さ!



『<sup>まよなか</sup>まよなかの <sup>せんろ</sup>せんろ』 <sup>鎌田 歩</sup>鎌田 歩/著 <sup>アリス館</sup>アリス館

まよなかには <sup>はたら</sup>いたっている <sup>ひと</sup>人が <sup>います</sup>います。でんしゃを <sup>ささ</sup>える <sup>せんろ</sup>せんろは <sup>まい</sup>まいに <sup>ち</sup>すこ <sup>し</sup>ず <sup>つ</sup>ゆ <sup>が</sup>んで <sup>い</sup>きます。その <sup>ゆが</sup>みを <sup>マルチ</sup>マルチ <sup>プル</sup>プル <sup>タイ</sup>タイ <sup>タン</sup>タン <sup>パー</sup>パー <sup>とい</sup>う <sup>しゃり</sup>しゃり <sup>よう</sup>よう <sup>を</sup>を <sup>つか</sup>って <sup>な</sup>お <sup>し</sup>ます。な <sup>お</sup>した <sup>あ</sup>とに、<sup>ち</sup>じ <sup>ょう</sup>さ <sup>ぎ</sup>ょう <sup>い</sup>ん <sup>が</sup> <sup>き</sup>れ <sup>い</sup>に <sup>し</sup>あ <sup>げ</sup>ます。さい <sup>ご</sup>に <sup>さ</sup>ぎ <sup>ょう</sup>か <sup>ん</sup>と <sup>く</sup>が、<sup>け</sup>い <sup>そ</sup>く <sup>き</sup>を <sup>つか</sup>って <sup>な</sup>お <sup>っ</sup>て <sup>い</sup>るか <sup>た</sup>し <sup>か</sup>め <sup>て</sup> <sup>さ</sup>ぎ <sup>ょう</sup>は <sup>お</sup>わ <sup>り</sup>ます。

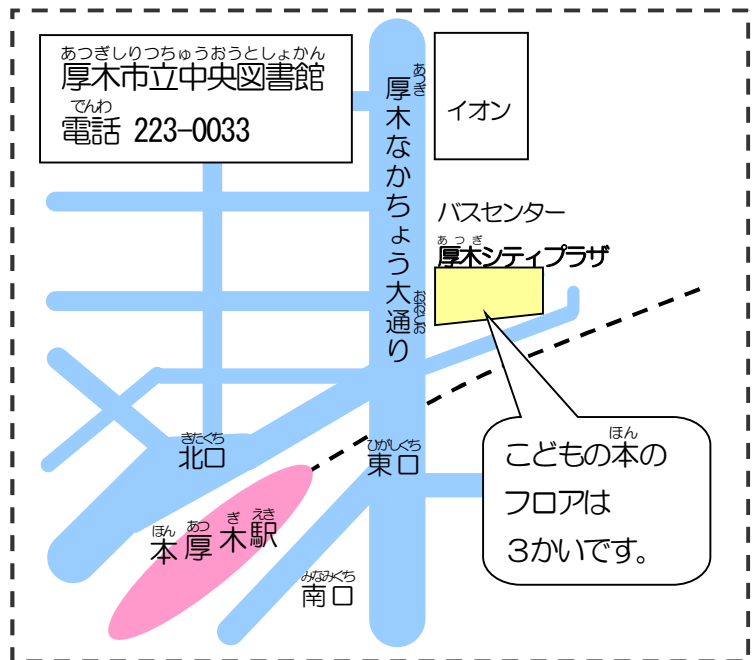
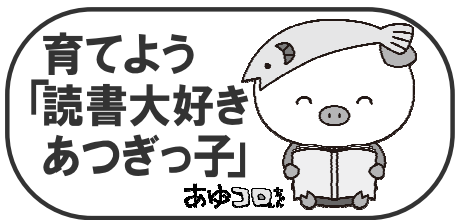
\*ちゅうおうとしょかん 3かい <sup>ほん</sup>こどもの本のフロアのごあんない  
3かいのひらいているじかん

9じから5じまで  
おやすみの日

施設保守日

ねんまつねんし  
年末年始

本のせいりのとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。